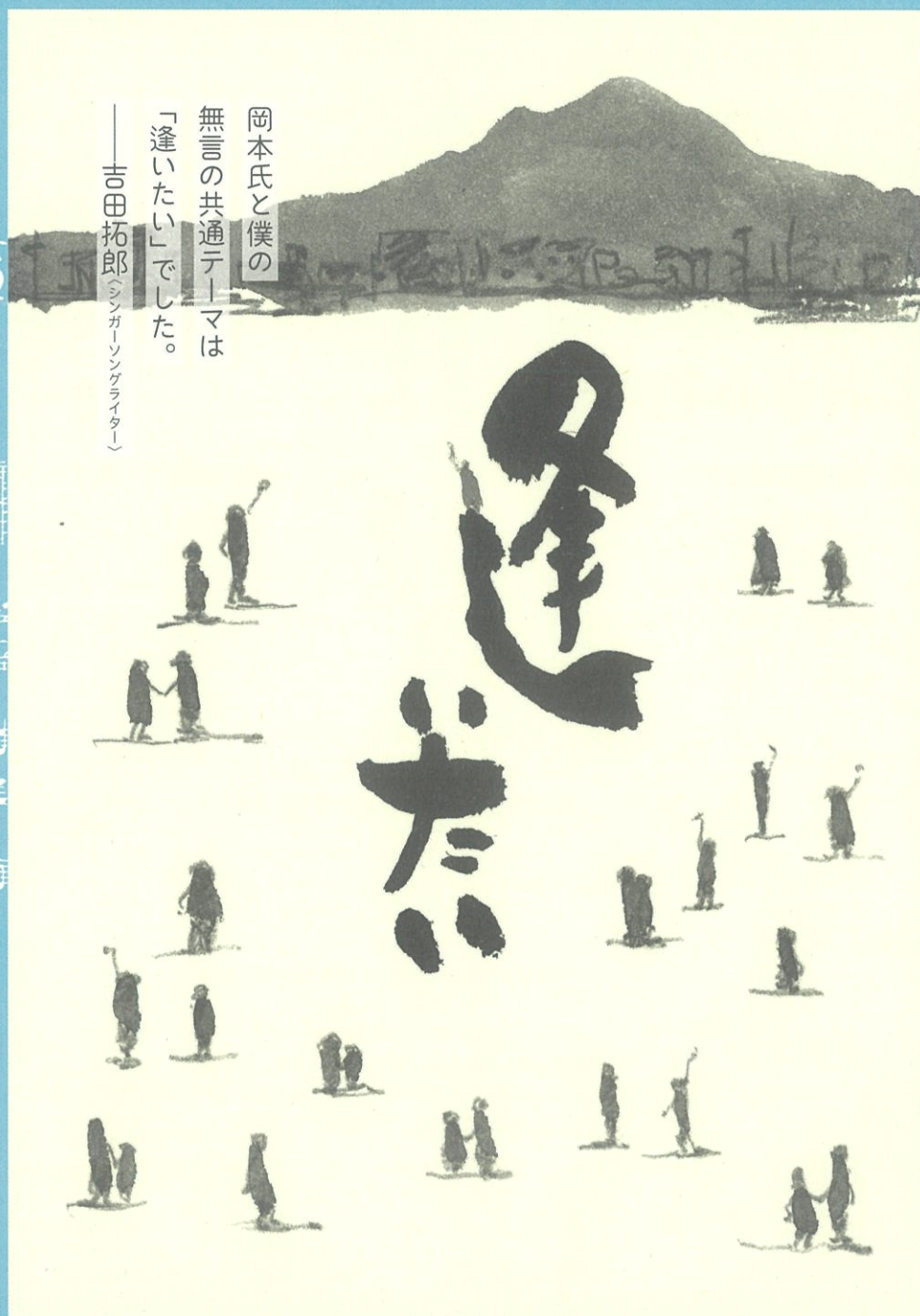




旅に唄あり 演劇と音楽の2days

—— 岡本おさみさんと出会う2日間 ——

2025

米子市出身の作詞家・岡本おさみさんを通してつながった全国の音楽ファンと米子市民による交流イベントです。

10.18(土) - 19(日)

18日 演劇 | 18:30 - 20:00(予)
19日 音楽 | 14:00 - 17:00(予)

米子市公会堂 大ホール

鳥取県米子市角盤町2-61 0859-22-3236

《チケット》1,500円(2日間共通) 高校生以下無料(要整理券)

《チケットお取り扱い》米子市文化ホール、米子市公会堂、米子市淀江文化センター(さなめホール)、米子コンベンションセンター 他

《お問い合わせ》岡本おさみさんを語る会 長谷川泰二 taiji0427@gmail.com 090-7597-8869

主催=岡本おさみさんを語る会 共催=一般財団法人米子市文化財団 特別協力=米子市 特別共演=演劇集団あり

後援=BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、日本海テレビ放送、中海テレビ放送、エフエム山陰、DARAZエフエム、新日本海新聞社、山陰中央新報社 他(予定)

語る会公式HP



旅に唄あり 演劇と音楽の2days — 岡本おさみさんと出会う2日間 —

DAY1
演劇

2025. 10.18 (土)

開場18:00 開演18:30 (終演予定20:00)

旅に唄あり 岡本おさみ物語

出演＝演劇集団あり

岡本おさみさんの「旅に唄あり」というエッセイを原作として、プロローグとエピローグで挟まれた6編のオムニバス形式で展開する創作劇。米子市で長く演劇活動をしている演劇集団「あり」のみなさんが「旅に唄あり」の本を中心に描く米子の物語です。

- 1 プロローグ「記念碑の除幕式」
- 2 「母がいた風景」
- 3 「祭りのあと」
- 4 「旅の宿」
- 5 「襟裳岬」
- 6 「落陽」
- 7 「山河、今は遠く」
- 8 エピローグ

演劇集団 あり

1970年、宮倉義文らが米子市に旗揚げ。
1992年、米子市文化奨励賞受賞。
添谷泰一作「わが町、米子」は劇団創立40周年として100回の公演。
「昭和二十年、夏」県内各地で上演。
「パパがママになる日」は70回以上の上演。

DAY2
音楽

2025. 10.19 (日)

開場13:30 開演14:00 (終演予定17:00)

第3回 岡本おさみさんを 歌うタベ

出演＝全国から集うフォークソングを愛するバンド

全国から岡本おさみさんの作品を愛する人々が集い、岡本おさみさんの作品を楽しみます。岡本さんが残してくれた言葉を慕い、歌い続ける人々の集いの場に。全国の音楽を愛する人たちとの交流が続くことを切に願っています。

吉田拓郎さんからいただいた
「逢いたい」という言葉にこめられた
強い想いをテーマにして開催します。

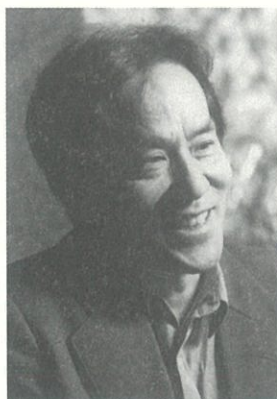
人間が人生をそれなりに生きて行く中で
とある瞬間に、自分が生まれ育った地に想いをはせるのは
とても自然な行為だと思います
(中略)

岡本おさみ氏も、きっと色々な旅を続けながら
この地の記憶に想いをはせて
ペンを走らせていたと確信いたします
岡本氏と僕の無言の共通テーマは「逢いたい」でした
そういう「逢いたい」を心に持っている人にとって
「その地」は永遠なのではないでしょうか

吉田拓郎さんからの
メッセージより

岡本おさみさんを 語る会

2023年4月2日に米子市で結成されました。約50人の全国から集まった岡本おさみさんを慕うメンバーはその作品に大きな影響を受けてきた人たちです。2022年に復刻新版「旅に唄あり」が発売されたことをきっかけに再び語り継いでいこうと結成されました。2024年11月30日には米子公会堂広場に「音楽記念碑」が建設され多くの人々が米子市を訪れています。



岡本おさみ 作詞家 本名 岡本修己(おかもと おさみ)

1942年、米子市靴町生まれ。米子市立啓成小学校卒、米子市立第一中学校(現東山中学校)卒、鳥取県立米子東高校卒。その後、日本大学へ。卒業後、放送作家から日本のフォークソング黎明期に作詞家へ。1974年、作詞・岡本おさみ、作曲・吉田拓郎、歌・森進一の「襟裳岬」で日本レコード大賞、日本歌謡大賞をW受賞。以後400曲をこえる作品を残した。作詞家活動の一方、芝居の作詞と訳詞に参加され幅広い活躍をした。

主な作品は「襟裳岬」「旅の宿」「落陽」「祭りのあと」(吉田拓郎)「こんな静かな夜」「満天の星」「愛する人へ」(南こうせつ)「黒いカバン」(泉谷しげる)など。地元の作品では「鳥取県わかとり国体歌」のほか、男性合唱組曲「隠岐四景」(1980年に文化庁芸術祭優秀賞)。組曲「野の鳥たちの歌」作曲・堀悦子、歌・山陰放送少年少女合唱団(文化庁芸術祭作品)がある。また、島根県の隠岐諸島をたびたび訪れ、「都万の秋」(吉田拓郎作曲・歌)が生まれた。



岡本おさみ著
「旅に唄あり(復刻新版)」
(山陰中央新報社・3300円)